



鳥たちはシベリアへ

美唄宮島沼には今年も3月半ばから4月にかけてマガンたちが飛来し、その数は今年も6万羽を越えました。マガンの1日は夜明けとともに始まり、空知一辺の落穂などを喰べ、夕方一斉に沼に帰り眠りにつく。マガンはシベリアに向けて旅立つ前に、十分なエネルギーを蓄えるのです。そして5月の初めに旅立ちの時が来る。一羽が鋭い声とともに羽ばたくと、それに続いて次々と大空に飛立つ幾万の水鳥たち、目ざすはシベリア、アナドゥリ低地4万キロの旅の始まりである。静寂が戻った沼に、いつもの住人たちのさえずりが渡ってくる。水鳥たちの楽園、美唄宮島沼。季節ごとに感動を与えてくれる水鳥たちよ、また来年も戻っておいで。

(雨田 実記)